

2018年度 活動報告書



公益社団法人 日本医療社会福祉協会

目 次

2018年度 各部・公益事業の主な活動報告

I. 公益目的事業1	2
II. 公益目的事業2	4
III. 公益目的事業3	14
IV. 公益目的事業4	15
V. 関連団体との連携＝法人事業	16
VI. 法人運営に関する事業の実施	17
2018年度 渉外関係活動報告	19
2018年度 研修プログラム	21

2018年度 公益事業の主な活動報告

I. 公益目的事業1 保健医療分野の福祉および社会福祉サービスに係る調査研究事業の実施

1. 医療ソーシャルワーカーの適正配置にかかわる調査研究事業の実施

1) 保健医療制度政策の研究、分析、検証等を継続した。

(1)①「人生の最終段階における意思決定支援研修会」受講者への研修効果の調査を2会場（岩手県、福岡県）で実施した。

②2017年度「人生の最終段階における意思決定支援研修会」の研修効果の調査結果をまとめた。

(2)「外来におけるソーシャルワーク支援」の調査を2月発行の協会ニュースに同封して行った。（3月15日締め切り）

(3)全国196か所の在宅療養支援診療所（単独型）を対象に、診療所の概要や相談機能の調査を郵送で行った。

(4)調査協力/平成30年度厚生労働行政推進調査による「難病患者の総合的支援体制に関する研究」班

→ 2月発行の協会ニュースに同封

2) 平成30年度診療報酬・介護報酬改定に対応した。

(1)2018年3月24日の説明会で作成したDVDを使用しての説明会を3か所で開催した。

		会 員	非会員	合 計
4/7 (土)	関 東	151	22	173
4/14 (土)	北海道	77	7	84
4/28 (土)	関 西	105	25	130

(2)疑義解釈・質問への対応を行った。

質問対応：5件（入退院加算：4件 体制加算：1件）

疑義解釈①

疑義解釈② 7月30日 掲載

(3)講師派遣

日程	依頼元	参加者	派遣者
5/9	船橋市 SW 協議会	45名	山崎
5/12	群馬県協会	115名	山崎・篠原
5/19	宮城県協会	50名	鈴木・梅木
5/25	愛知県協会	43名	岡村
5/26	青森県協会	45名	岡村
6/2	和歌山県協会	37名	藤田
6/30	福岡県協会	108名	鈴木
7/28	栃木県協会	44名	鈴木

(4)影響調査

3) 調査研究の方法、分析に関する検討

オンラインアンケートツールの活用を行った。

2. 医療機関等に所属する会員データの収集・分析に関する調査研究事業の実施

会員情報の把握に関する調査を実施し、公益に資する方策を検討・実施した。具体的には、全国の医療機関で、保健医療分野の福祉サービスを提供している機関の情報収集およびホームページに会員マップを掲載した。

3. 医療ソーシャルワーカーの業務統計に関する調査研究の継続

保健医療分野における EBM（科学的根拠に基づく医療）の導入に対応し、ソーシャルワーカーの業務が客観的なデータに基づき評価されるよう情報収集を継続した。2018 年度はソーシャルワークデータシステム「MANBO」の利用率を上げる方法を検討した。

4. ソーシャルワーク実践のための新グローバル定義の普及と倫理綱領見直しの実施。

2014 年 7 月に採択された新グローバル定義に基づいた「日本国展開」が 2017 年 6 月に確定した。日本ソーシャルワーカー連盟（JASW）で「倫理改定委員会」を 5 回開催し、改定案を作成中。

第 2 回：8/24 第 3 回：9/28 第 4 回：11/30

第 5 回：1/25 第 6 回：2/28 第 7 回：3/28

5. 保健医療分野の制度に関する調査研究

「在宅医療」施策の課題や「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」等について、施策動向を把握し、関係機関に提言および国民の社会福祉の向上に資するよう情報発信を行った。

6. 国際ソーシャルワーカー連盟（IFSW）が主催する世界会議への参加

1) 国際化時代に対応して諸外国のソーシャルワークおよび医療ソーシャルワーカーの現状と課題・今後のあり方等について日本ソーシャルワーカー連盟（JASW）国際委員会のメンバー団体として情報収集と調査研究（社会福祉士試験・振興センター助成事業）を行った。

2) 7/3～7にアイルランド・ダブリンで開催された国際ソーシャルワーカー連盟世界会議（IFSW）へ JASW 会長団体として参加し、わが国の最近の社会福祉の現状を発信した。得られた知見等協会ニュースや HP で紹介した。

7. 1. から 6. までの事業について、個人情報保護や機密性に配慮しながら、調査結果や収集した成果を情報提供した。

1) 会誌「協会ニュース」を年間 4 回（4 月、7 月、10 月、1 月）発行した。

2) 機関誌「医療と福祉」を年間 1 回（8 月）発行すると共に、会員ページで過去の論文の検索システムを構築した。

3) 保健医療分野の福祉サービスに係る普及啓発を目的として、当協会のホームページを運営管理し、以下の情報発信を行う。

(1) 当協会の行っている公益目的活動に関する情報

(2) 研修制度見直しに関する情報

(3) 研修会の開催、参加案内に関する情報

(4) 国民の利益の増進に役立つ情報

(5) その他、国民生活に関連する必要な情報

II. 公益目的事業2 保健医療分野の福祉サービスに携わる社会福祉士の専門知識および技術の習得および向上に資する研修事業の実施

1. 医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅰを実施した。

1) 医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅰ【東京会場】(第78回医療ソーシャルワーカー初任者講習会)

期 日：2018年8月8日(水)～8月12日(日)

場 所：KFC Rooms(東京都墨田区)

対 象：現に保健医療分野のソーシャルワーカーとして従事する者であって、受講する年度の3月末日現在において実務経験が3年未満の者。

目 的：実務経験3年未満の医療ソーシャルワーカーに対し、医療ソーシャルワーカーとして必要な基礎的な知識・技術を習得してもらうことを目的とする。

内 容：別掲

修了者：130名

2) 医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅰ【兵庫会場】(第77回医療ソーシャルワーカー初任者講習会)

期 日：2018年11月21日(水)～25日(日)

場 所：TKP 神戸三宮カンファレンスセンター(兵庫県神戸市)

修了者：98名

2. 医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅱを実施した。

1) 医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅱ【東京会場】

期 日：2018年7月15日(土)～17日(月)

場 所：KFC Rooms(東京都墨田区)

対 象：保健医療分野のソーシャルワーカーの実務経験3年以上の現任者。

目 的：実務経験3年を超えた保健医療分野のソーシャルワーカーが標準的に行うべき業務を遂行できるよう、必要な知識技術を身につけ実践力を高めることを目的とする。

内 容：別掲

修了者：76名

2) 医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅱ【広島会場】

期 日：2019年2月9日(土)～11日(月)

場 所：ホテルチューリッヒ東方2001(広島県広島市)

修了者：56名

3. 実習指導者養成認定研修を実施した。

1) 実習指導者養成認定研修【東京会場】

期 日：2018年9月15日(土)～17日(月)

場 所：KFC Rooms(東京都墨田区)

対 象：実習指導に悩まれている方や今まで実習指導を行ったことのない保健医療分野のソーシャルワーカーの実務経験3年以上の現任者。

目的：社会福祉専門職の養成教育において、重要課程である実習現場での実習時に、有効な指導ができるように、現場のソーシャルワーカーを現場のスーパーバイザーとして養成することを目的とする。

内容：別掲

修了者：60名

2) 実習指導者養成認定研修【大阪会場】

期日：2018年11月23日（金）～25日（日）

場所：CIVI研修センター 新大阪東（大阪府大阪市）

修了者：53名

4. スーパーバイザー養成認定研修を実施した。

1) スーパーバイザー養成認定研修【兵庫会場】

期日：2018年10月20日（土）～21日（日）

場所：富士ゼロックス総合教育研究所 スペースアルファ三宮（兵庫県神戸市）

対象：(1)～(4)のいずれか1つを満たしている者。

(1) 当協会の認定医療社会福祉士登録者。

(2) 当協会の研修①～②のいずれか1つを満たしている者。

①実習指導者養成認定研修修了者。

②ソーシャルワーク スキルアップ研修 スーパービジョン研修受講者。

(2010、2011、2014～2018年度)

(3) 当協会のスーパーバイザー登録・紹介事業登録者。

(2003～2009年度実施事業)

(4) 保健医療分野の現任者で組織の承諾が得られる者。

目的：保健医療分野におけるソーシャルワークサービスの充実、および、質の向上を図るため、スーパーバイザーを養成することを目的とする。

内容：別掲

修了者：29名

2) スーパーバイザー養成認定研修【東京会場】

期日：2018年10月27日（土）～28日（日）

場所：KFC Rooms（東京都墨田区）

修了者：35名

5. 人材開発・養成講座を実施した。

期日：2019年2月3日（日）

場所：KFC Rooms（東京都墨田区）

対象：現任のソーシャルワーカー。

目的：ソーシャルワークの専門性を踏まえた、人材育成・人材養成・人材開発の方法論を身に付けることを目的とする。

内容：別掲

受講者：36名

6. ソーシャルワーク スキルアップ研修を下記の内容で 18 回実施した。

1) アセスメント

期 日：2019 年 2 月 2 日（土）

場 所：ピュアリティまきび（岡山県岡山市）

対 象：保健医療分野のソーシャルワーカーの実務経験 4 年未満の現任の保健医療分野の
ソーシャルワーカー。

目 的：保健医療分野のソーシャルワークにおける一般的アセスメントについて医療ソー
シャルワーカー基幹研修 I で習得した知識・技術を講義と演習を通してさらに深
め、アセスメントの実践力を高めることを目的とする。

内 容：別掲

受講者：29 名

2) インテグレイティブ・ショートターム・トリートメント（統合的短期型支援）

期 日：2018 年 12 月 1 日（土）～12 月 2 日（日）

場 所：京都リサーチパーク東地区 1 号館（京都府京都市）

対 象：実務経験 3 年以上の現任の保健医療分野のソーシャルワーカー。

目 的：近年の社会福祉などを取り巻く状況の変化に予知、短期の支援が要請されているた
め、ソーシャルワーク諸理論の統合的活用により、より効果・効率的支援（総合的
短期支援）の技法を学ぶことを目的とする。

内 容：別掲

受講者：53 名

3) 面接技術 ～ソリューション・フォーカスト・アプローチ～

期 日：①2018 年 4 月 29 日（日） ②5 月 27 日（日） ③7 月 1 日（日）

場 所：KFC Rooms（東京都墨田区）

対 象：原則として実務経験 3 年以上の現任の保健医療分野のソーシャルワーカー。

目 的：面接技術を向上させることにより、短時間に適切なアセスメントにつながる情報収
集やクライアントとの関係性の構築を図ることを目標とし、そのために新しい手法
の一つとしてソリューション・フォーカスト・アプローチの技術を学ぶことを目的
とする。

内 容：別掲

受講者：32 名

4) 記録 ～プロセスからプロセス記録～

期 日：2018 年 9 月 22 日（土）

場 所：IMYホール・会議室（愛知県名古屋市）

対 象：記録について学びたい保健医療分野のソーシャルワーカー。

目 的：電子カルテに SW も記録を残すことが増えた昨今、プロセス記録とプロセス記録
の違いを明確にし、記録の中でも電子カルテに多い SOAP 記録を基本にしたプロ
セス記録のあり方などを講義とワークショップ形式で学ぶことを目的とする。

内 容：別掲

受講者：74 名

- 5) 記録 ～プロセスからプログレス記録～ アドバンス
期 日：2018年9月23日(日)
場 所：IMYホール・会議室(愛知県名古屋市)
対 象：記録の研修としてさらに学びたい保健医療分野のソーシャルワーク実践者。
目 的：ワークショップを中心により根拠のある記録方法を学ぶことを目的とする。
内 容：別掲
受講者：30名
- 6) スーパービジョン
期 日：2018年10月6日(土)
場 所：スターツ総合研修センター(茨城県つくばみらい市)
対 象：保健医療分野のソーシャルワーク実践者。
目 的：保健医療分野のソーシャルワーカーの実践力を向上させていくためには不可欠なスーパービジョンを講義と演習を通して学ぶ。
内 容：別掲
受講者：40名
- 7) 退院支援専門ソーシャルワーク研修【北海道会場】
期 日：2018年7月7日(土)～8日(日)
場 所：国立病院機構北海道医療センター(北海道札幌市)
対 象：退院支援ソーシャルワーク実践者。
目 的：急性期病院をはじめ保健医療分野のソーシャルワーカーは退院支援に多くの時間を取られている現状にあると思われます。診療報酬の動きを踏まえ、われわれソーシャルワーカーも積極的にこの退院支援について考え学ぶことを目的とする。
内 容：別掲
修了者：37名
- 8) 退院支援専門ソーシャルワーク研修【大阪会場】
期 日：2018年11月3日(土)～11月4日(日)
場 所：CIVI北梅田研修センター(大阪府大阪市)
修了者：82名
- 9) ソーシャルワーカーによる退院支援実践の自己評価とプログラム評価
期 日：2018年7月21日(土)～22日(日)
場 所：KFC Rooms(東京都墨田区)
対 象：保健医療分野でソーシャルワーク実践を行っている経験3年以上の現任者。
目 的：本研修の目的は、保健医療分野のソーシャルワーカーが自己評価とプログラム評価の2つの評価のアプローチを理解し、評価のスキルを活用できるようになることである。第一は、ソーシャルワーカーとしての的確に退院支援に関与するための開発された指標(「ソーシャルワーカーによる退院における実践の自己評価」)を用いて、これまでの自らの実践を評価することを通して、実践力を高めることである。第二に、プログラム評価の基本を学び、病院組織での退院支援のプログラム評価を活用できるようになることである。これらのセッションを通して、退院支援におけるソーシャルワーカーの役割を理解することを期待する。

内 容：別掲

受講者：62名

10) 周産期から始まるソーシャルワーク研修

期 日：2019年3月9日（土）～10日（日）

場 所：KFC Hall 2nd（東京都墨田区）

対 象：周産期・小児領域で実践中または今後関わる予定のあるソーシャルワーカー。

目 的：周産期およびそれに続く小児ソーシャルワークは、個人および家族にとってライフサイクル上の重要な時期の生活を支えることになり、生活者の生活課題を予測しストレングスを支えるソーシャルワークの力を発揮することが求められる。急性期医療を要する時期における集中的な支援のみならず、成長発達する子どもを地域の諸機関と共にチームで支えていく視点も必要である。家族のはじまりの時期から関わり、その後も継続的に生活を支えていくソーシャルワークについて学び、実践力を養うことを目的とする。

内 容：別掲

受講者：47名

11) ソーシャルワークにおける就労支援

期 日：2019年1月26日（土）

場 所：KFC Rooms（東京都墨田区）

対 象：保健医療分野における現任のソーシャルワーカー実践者。

目 的：働くがん患者への支援は、第2期がん対策推進基本計画（平成24年策定）より重点課題として明記されたほか、平成30年度からは一部診療報酬に組み込まれるなど、現在、仕事とがん治療の両立支援に関する体制整備が推進されているところである。本研修は、がん患者の就労問題に関する政策的な動向・がん治療に伴う身体変化の特徴等に関する理解を深め、がん患者の職業生活と治療の両立支援に関する実践力を高めることを目的とする。

内 容：別掲

受講者：55名

12) 緩和ケアにおけるソーシャルワーク ～いのちに向き合う～

期 日：2019年1月19日（土）

場 所：KFC Rooms（東京都墨田区）

対 象：緩和ケア領域で実践中、および関心をもつ現任のソーシャルワーカー。

目 的：緩和ケア対象の患者と家族へのソーシャルワークは、緩和ケア病棟に限らず、がん専門相談員としての実践や緩和ケアチームへの参入など、広く求められてきている。ソーシャルワーカーとしていかに向き合い支援していくか、緩和ケアにおけるソーシャルワークについて学びその実践力を高めることを目的とする。

内 容：別掲

受講者：56名

13) ソーシャルワークにおける臨床倫理

期 日：2018年7月29日（日）

場 所：KFC Rooms（東京都墨田区）

対 象：保健医療分野でソーシャルワーク実践を行っているソーシャルワーカー。

目 的：保健医療分野のソーシャルワーカーにとって「クライアントの自己決定を支援する」ことの重要性は論を待たない。しかし選択の局面は、クライアント自身が意思表出困難な場合や、選択に制限が生じる状況、様々な要因の絡み合いなど「自己決定を支援する」ことが、容易ではないことは少なくない。そうした状況を臨床倫理的な視点で捉え、ソーシャルワーク実践における臨床倫理について考えることを目的とする。

内 容：別掲

受講者：55名

14) 認知症高齢者へのソーシャルワーク支援

期 日：2018年11月10日(土)

場 所：KFC Hall 2nd(東京都墨田区)

対 象：保健医療分野でソーシャルワーク実践を行っているソーシャルワーカー。

目 的：近年、もの忘れ外来や、認知症疾患医療センターなどが医療機関に設置され、保健医療分野のソーシャルワーカーが関わり、また、治療の継続や選択の局面、地域での生活支援など、専門診療科以外でも多くのソーシャルワーカーが関わっている。人権に基づく相談援助を行う専門職として、権利擁護や成年後見などの法的な枠組みを含めたソーシャルワーク支援を学ぶことを目的とする。

内 容：別掲

受講者：74名

15) 「家族療法」についてのワークショップ

期 日：2018年5月12日(日)

場 所：情報オアシス神田セミナーハウス北スペース(東京都千代田区)

対 象：保健医療分野でソーシャルワーク実践を行っているソーシャルワーカー。

目 的：日々の業務に密接に関わる当事者と家族に対する理解をより深め、臨床に生かすことを目的に、家族療法の理論と実際について学ぶ。特に、家族療法の視点をふまえたアプローチの実際、基本的な考え方の応用を目指すことを目的とする。

内 容：別掲

受講者：52名

16) ソーシャルワーカーとコミュニティデザイン

期 日：2018年11月3日(土)

場 所：KFC Hall 2nd(東京都墨田区)

対 象：保健医療分野でソーシャルワーク実践を行っているソーシャルワーカー。

目 的：ソーシャルワーカーは地域で暮らす人々に寄り添い、療養中に生じる生活問題を共に考える役割として、取り組んできました。近年の医療機能の分化や地域包括ケアの推進において、ミクロレベルのソーシャルワークを根底に、メゾマクロのソーシャルワークの力を発揮するため、組織をアセスメントし、支援を組織化していく取り組みについて講義と演習を通して学ぶことを目的とする。

内 容：別掲

受講者：20名

17) アディクションにおけるソーシャルワーク実践研修

期 日：2018年10月21日（日）

場 所：KFC Hall 2nd（東京都墨田区）

対 象：保健医療分野でソーシャルワーク実践を行っているソーシャルワーカー。

目 的：医療ソーシャルワーカーに必要なアディクションの知識を学び、依存症者の生きづらさへの理解を深めることで医療ソーシャルワーカーの果たすべき役割を理解すること、また演習を通じて、回復の動機づけを高める効果的なアプローチ方法や支援環境を理解し、ミクロからマクロまでを範疇とする適切なソーシャルワーク実践力を高めることを目的とする。

内 容：別掲

受講者：46名

18) 交通事故被害者生活支援研修

期 日：2019年2月10日（日）

場 所：KFC Rooms（東京都墨田区）

対 象：交通事故被害者生活支援の実践の有無に関わらず、交通事故被害者生活支援に関心があり、事前学習として指定された複数の交通事故被害者生活支援に関する動画を閲覧でき、それに対する事前課題を提出できる者。

目 的：医療ソーシャルワーカーとして身に付けておくべき交通事故被害者生活支援についての基礎的な知識や支援のプロセスについて、当協会が配信している動画等により学習した者を対象に、より高度な交通事故被害者支援に必要な知識や技術の習得を目的とする。

なお、具体的な受講者に対する目標は以下の通り。

- 1) 復帰までに長い時間を要することもある交通事故被害者に対し、円滑かつ的確な支援が行えるようになる。
- 2) 交通事故被害者支援に必要な社会資源の知識や技術をもって、より複雑なケースにも支援にあたることができるようになる。
- 3) 交通事故被害者支援に必要な危機介入や被害者心理を理解した支援ができるようになる。

内 容：別掲

受講者：25名

7. 社会福祉を学ぶ学生のための医療ソーシャルワーク学生講座を開催した。

期 日：2019年3月2日（土）～3日（日）

場 所：KFC Hall 2nd（東京都墨田区）

対 象：社会福祉を学ぶ大学2年生・3年生・4年生、社会福祉士養成校学生、大学院生。

目 的：社会福祉を学ぶ学生の「医療ソーシャルワーカーになりたい」「実際の仕事について知りたい」「病院の実習を受ける前に事前学習をしたい」といった要望に応え、正しい職業イメージを習得することを目的とする。

内 容：別掲

受講者：61名

8. フレッシュ医療ソーシャルワーカー1日研修会を実施した。

1) フレッシュ医療ソーシャルワーカー1日研修会【愛知会場】

期 日：2018年4月29日（日）

場 所：名古屋都市センター（愛知県名古屋市）

対 象：入職後2年未満の医療ソーシャルワーカー。

目 的：先輩や同期の仲間と交流を持ち、社会人の基礎や医療ソーシャルワーカーの心構えや知識、近隣の都道府県協会を知ることが目的とする。

内 容：別掲

受講者：23名

2) フレッシュ医療ソーシャルワーカー1日研修会【大阪会場】

期 日：2018年5月20日（日）

場 所：大阪市社会福祉研修・情報センター（大阪府大阪市）

受講者：57名

3) フレッシュ医療ソーシャルワーカー1日研修会【東京会場】

期 日：2018年7月14日（土）

場 所：JCHO 東京新宿メディカルセンター（東京都新宿区）

受講者：96名

9. 医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅰ・Ⅱ修了者、実習指導者養成認定研修修了認定者、スーパーバイザー養成認定研修修了者を集計したところ次のとおりであり、実習指導者の認定者については厚生労働省に届出等を行った。

2019年3月31日現在の修了者数の累計

医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅰ修了者：2,271名

医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅱ修了者：1,217名

実習指導者養成認定研修修了認定者：1,289名

スーパーバイザー養成認定研修修了者：432名

10. 研修統括事業部会内委員会

1) 実習指導者養成研修運営委員会

実習指導者養成認定研修を2回実施した。なお、実習指導者養成認定研修は、社会福祉士実習指導者講習会として厚生労働省より認められているので、前記9. のとおり厚生労働省に届出等を行った。

2) 研修事業検討委員会

外部の有識者を交え1回開催し以下の検討を行った。

①基幹研修Ⅰの運営方法および研修内容についての検討。

②基幹研修Ⅱの運営方法および研修内容についての検討。

11. 第38回日本医療社会事業学会の開催

2018年6月15日（金）～17日（日）、サンポート高松（神奈川県高松市）にて第66回大会・第38回学会を実行委員会とともに開催した。

12. 第18回都道府県研修担当者会議の実施

第66回日本医療社会福祉協会全国大会に併せ実施した。

13. 講師紹介（派遣）事業については、14件紹介した。

14. 保健医療分野におけるソーシャルワーク専門研修

当協会と（公社）日本社会福祉士会との共同事業である保健医療分野におけるソーシャルワーク専門研修を運営し、第14期のスクーリングを実施した。

＜期日：2018年8月24日（金）～26日（日） 場所：KFC Rooms（東京都墨田区）＞
参加者は、15名であった。

スクーリングの評価については、（公社）日本社会福祉士会と合同による評価委員会を行った。

15. 災害福祉支援活動基礎研修2018を実施した。

目的：全国で福祉職向けの災害福祉支援活動基礎研修を実施することで、災害支援に関心のある福祉職を掘り起こし、災害時の福祉支援に関する基礎知識を共有し習得すること。また、他の専門職の考え方や専門性を知るとともに、普段別の分野で働いている福祉職との協働の体験をすることにより、平時、災害時でのネットワークをつくること。さらに全国に災害福祉支援チーム人材がストックされていくことで、様々な災害において、即応かつ継続的に福祉支援を行うことができるようにすることを目的とする。

1) 災害福祉支援活動基礎研修2018【東京会場】

期日：2018年9月29日（土）～30日（日）

場所：日本ソーシャルワーク教育学校連盟（東京都港区）

対象：地域で活動する社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、介護支援専門員、相談支援専門員などの福祉・介護の専門職、社会福祉協議会、ボランティアコーディネーター、福祉系教員など災害時の福祉支援に関心のある福祉関係の方。

内容：別掲

受講者：70名

2) 災害福祉支援活動基礎研修2018【群馬会場】

期日：2018年11月3日（土）～4日（日）

場所：国立病院機構高崎総合医療センター（群馬県高崎市）

受講者：46名

3) 災害福祉支援活動基礎研修2018【徳島会場】

期日：2019年2月9日（土）～10日（日）

場所：徳島県総合福祉センター（徳島県徳島市）

受講者：45名

16. 災害福祉支援活動体験型研修2018を実施した。

期日：2018年10月20日（土）～21日（日）

場所：福岡県立社会教育総合センター（福岡県糟屋郡）

対 象：在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、在宅医療介護連携支援センターに勤務している（または予定の）ソーシャルワーカー。

目 的：災害福祉支援活動基礎研修に続けて体験型研修を実施することで基礎知識をより理解し、被災地での被災者支援などを疑似体験することで、災害被災支援に連携できる福祉職のネットワークをつくる。他の専門職の考え方や専門性を知るとともに、普段別の分野で働いている福祉職 との協働の体験をする。全国に災害支援福祉チーム人材がストックされていくことで、様々な災害において、即応かつ継続的に福祉支援を行うことができるようにすることを目的とする。

内 容：別掲

受講者：29名

17. 人生の最終段階における意思決定支援研修会を実施した。

1) 人生の最終段階における意思決定支援研修会【岩手会場】

期 日：2018年10月27日（土）～28日（日）

場 所：マリオス（岩手県盛岡市）

対 象：保健医療分野でソーシャルワーク実践を行っている医療ソーシャルワーカー。

目 的：人生の最終段階の意思決定の場面において、医学的適応だけではなく、その方が今後の人生をどのように生きたいか、どのように過ごしたいかの相談支援もふくまれる。合意形成に向けたチーム医療の実現とクライアントにどのように向き合い支援をするかを学び、実践力を高めることを目的とする。

内 容：別掲

修了者：56名

2) 人生の最終段階における意思決定支援研修会【福岡会場】

期 日：2018年11月17日（土）～18日（日）

場 所：パピヨン24（福岡県福岡市）

修了者：83名

18. 在宅医療ソーシャルワーク研修会を実施した。

期 日：2018年6月30日（土）

場 所：富士ゼロックス総合教育研究所 スペースアルファ三宮（兵庫県神戸市）

対 象：在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、在宅医療介護連携支援センターに勤務している（または予定の）ソーシャルワーカー。

目 的：近年、地域包括ケアシステムの推進と在宅医療の普及が求められる中で、在宅療養支援診療所などの在宅医療の現場で働くソーシャルワーカーに期待が寄せられている。そこで、地域で暮らしている人びとの Well-being の増進と地域への貢献をめざし、①在宅医療ソーシャルワーカーによる支援の質の向上、②ネットワークづくりを目的とする。

内 容：別掲

受講者：52名

19. 老健ソーシャルワーク研修会を実施した。

期 日：2018年9月29日（土）

場 所：KFC Rooms（東京都墨田区）

対 象：老人保健施設の支援相談員（ソーシャルワーカー）。

目 的：老人保健施設は介護を必要とする高齢者の自立を支援し、住み慣れた家庭や地域への復帰を目指すための施設である。在宅ケア支援や近年は看取り介護への支援の役割も担っていることを考えると、地域包括ケアシステムの中心的施設であり、その中核を担う支援相談員（ソーシャルワーカー）の役割は重要である。本研修会は全国老人保健施設協会の協力を得て、支援相談員のソーシャルワーク機能の資質向上を目的とする。

内 容：別掲

受講者：47名

20. 全日本病院協会と協力して「病院医療ソーシャルワーカー研修会」を実施した（2回）。

Ⅲ. 公益目的事業3 認定医療社会福祉士制度の整備並びに資格の付与に関する事業の実施

1. 2018年度の認定審査

1) 2017年度認定者に認定・資格付与を実施した。

2017年度新規申請 合格者 10名

2017年度更新申請 合格者 19名

2) 2019年3月31日に認定審査を行った。

2018年度新規申請 合格者 17名

2018年度更新申請 合格者 20名

2. 認定機構認定社会福祉士認定研修を実施した

1) 2019年度 第2回認定社会福祉士認定研修

集合研修Ⅰ 2018年2月23日（土）～24日（日）

会 場 当協会会議室

受 講 者 7名

3. 認定医療社会福祉士の普及促進活動

協会ニュースに、毎号、記事を掲載し、その他ホームページ、チラシ等で促進のための広報活動を行った。

4. 認定機構スーパービジョン説明会を実施した。

1) 平成30年度スーパービジョン説明会【兵庫会場】

期 日：2018年10月21日（日）

会 場：富士ゼロックス総合教育研究所 スペースアルファ三宮（兵庫県神戸市）

修了者：31名

2) 平成30年度スーパービジョン説明会【東京会場】

期日：2018年10月28日(日)

会場：KFC Rooms(東京都墨田区)

修了者：29名

IV. 公益目的事業4 社会貢献に関する事業の実施

1. 「患者・家族のための権利擁護活動」の実施

1) 「患者の権利法をつくる会」活動に参画し、患者の権利が適切に実現できる医療現場の基盤づくりを目指す中で、「福祉援助業務」の根付く土壌が明記された医療基本法の制定を求めていく。WHO憲章の定義に明記されているように、ソーシャルウエルビーイングの視点を含む「医療」を目指そうとする医療基本法の制定に向けて、関係団体と協力し、議員、関係機関への働きかけ、会員、市民への啓発活動を行った。

5/16 「医療基本法制定にむけた院内集会」於 参議院会館内

10/13 つくる会世話人会

12/1 シンポジウム「みんなで動こう医療基本法パートⅣ」

2/6 「医療基本法制定に向けた議員連盟設立総会」於 参議院会館内

3/24 つくる会

2) 「人権擁護と医療ソーシャルワーク」活動として、昨年「赤い羽根福祉基金」事業で作成した「身元保証がない方の入退院支援ガイドブック」等に対して依頼の4件の講演活動を行った。

2. 「患者・元患者のための支援活動」の実施

ハンセン病回復者および家族等支援活動

ハンセン病回復者および家族の地域生活を支える活動(ハート相談センター)の運営に協力する。高齢化が進む回復者と家族の個別支援、相談支援を全国の担当者と連携して行った。

3. 「災害支援活動」の実施

1) 2011年から継続している宮城県石巻市の東日本大震災被災者支援を2017年度も継続する。被災から6年が経過し、石巻市は委託事業の集約を行わざるを得ず当協会への委託は「仮設住宅被災者生活自立支援事業」となる。仮設住宅から復興公営住宅への移行支援を今年度は4人体制で取り組んだ。

災害支援体制

	担当者氏名	役職	拠点住所
本部事務所	笹岡 眞弓	日本医療社会福祉協会 災害支援チーム統括責任者	東京都新宿区住吉町8-20 四谷チンゴビル2階
	相原 和子	日本医療社会福祉協会 スーパーバイザー	東京都新宿区住吉町8-20 四谷チンゴビル2階
	西田知佳子	日本医療社会福祉協会 スーパーバイザー	東京都新宿区住吉町8-20 四谷チンゴビル2階
	金子小夜子	日本医療社会福祉協会 災害支援チーム事務担当	東京都新宿区住吉町8-20 四谷チンゴビル2階
石巻事務所	福井 康江	日本医療社会福祉協会 災害支援チーム石巻拠点 現地責任者	宮城県石巻市中里7丁目6-2 在宅被災世帯サポートセンターC棟
	金崎 慶大	日本医療社会福祉協会 災害支援チーム石巻拠点 現地担当	宮城県石巻市中里7丁目6-2 在宅被災世帯サポートセンターC棟
	菊田 駿	日本医療社会福祉協会 災害支援チーム石巻拠点 現地担当	宮城県石巻市中里7丁目6-2 在宅被災世帯サポートセンターC棟
	佐藤なおみ	日本医療社会福祉協会 災害支援チーム石巻拠点 現地担当	宮城県石巻市中里7丁目6-2 在宅被災世帯サポートセンターC棟
	清水 大地	日本医療社会福祉協会 災害支援チーム石巻拠点 現地担当	宮城県石巻市中里7丁目6-2 在宅被災世帯サポートセンターC棟

2) 国内外の被災地において活動する、または活動した実績のある団体と連携し、災害が発生した場合に被災者に対して提供すべき福祉サービスの内容と提供するための方策について、情報交換する活動を継続した。

4. 「国際的社会貢献活動」の実施

公益財団法人国際医療技術財団（JIMTEF）との連携会議に出席した。（1回）

V. 関連団体との連携＝法人事業

1. 厚生労働省全国在宅医療会議

会議に参加した。

2. 日本ソーシャルワーカー連盟（JFSW）へ会長団体として参加した。

- 1) 代表者会議で専門職としての連携のあり方等について意見交換を行った。
- 2) ハンセン病回復者および家族への支援（ハート相談センター運営に参加）を行った。
- 3) 2018 Social Work Conference（アイルランド大会）参加に向けての調整を行った。
- 4) 倫理綱領の見直しを行った。
- 5) ソーシャルワーカーデー（2018年7月16日）の企画運営を行った。

3. ソーシャルケアサービス従事者研究協議会（SCS）への参加
 - 1) ソーシャルケアの専門性についての調査研究活動を行った（2年目）（社会福祉試験・振興センター助成）。
 - 2) 政策勉強会への企画に参加をした。

4. チーム医療推進協議会
「チーム医療」の発展のために本協議会の活動に参加した。
 - 1) 理事会（年6回）
 - 2) 総会（年2回）
 - 3) 会長懇談会

5. 在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク活動
在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク活動に参加を検討したが、今年度は保留とした。

6. 難病患者支援活動
JPA フォーラムに東京都協会と協力して活動支援、参加周知した。
団体共催金を拠出した。

7. アルコール健康障害対策基本法推進ネットワーク
研修や調査およびその他企画に協力した。

8. 国民医療推進協議会

9. 公益社団法人全日本病院協会加入病院における医療ソーシャルワークの質の向上のため、研修や調査およびその他企画に協力した。

10. 国民医療推進協議会
国民皆保険制度を守るためのアピール活動に協力した。

11. 救急認定ソーシャルワーカー認定機構
理事会に参加した。

VI. 法人運営に関する事業の実施

1. 会員情報の把握に関する調査等を実施し、入会促進に関する方策について検討した。
 - 1) 会員名簿を管理した。
 - 2) 入退会者を把握した。
正会員 入会 439 名、退会 321 名
賛助会員 入会 個人 42 名、団体 1 団体、退会 個人 37 名、団体 1 団体
 - 3) 入会促進のために、新入会員から入会動機の調査を行った。
 - 4) 全国医療ソーシャルワーカー協会会長会の事務局を担当し 2018 年度内に 6 月 15 日（香川

県)、11月3日(大阪府)において会長会を開催した。都道府県単位の医療ソーシャルワーカーの団体との連携を充実させた。

5) 永年会員表彰者の選定および表彰を実施した。

2. 理事会で承認を得た2019年度事業計画および予算を内閣府に提出した。

3. 当協会の法人としての運営に係る事業を実施した。

1) 定期社員総会を2018年6月15日香川県にて開催した。

2) 全国大会開催に関する業務を担当した。

(1)2018年6月15日~6月17日香川県にて第66回大会を開催(香川県医療ソーシャルワーカー協会と共催)。

(2)第67回大会開催準備を、一般社団法人神奈川県医療ソーシャルワーカー協会と共同で行った。

(3)第68回大会・第69回大会の開催地を決め、会場確保などの準備を進めた。

4. 会員の社会活動を支援するための社会活動補助事業を行う申請者はいなかった。

5. 本会の財産管理および出納に関する業務を行った。

6. 情報公開関係

7. ホームページ維持管理

ホームページ担当チームでは、ホームページ(協会本体・災害対策本部)の運営管理を行った。

8. その他、上記の業務以外代表理事から指示された特定の業務を行った。

2018年度 渉外関係活動報告

分類	主な活動内容
その 厚生 労働省 行政 機関 関係	厚生労働省 医政局地域医療計画課在宅医療推進室 <ul style="list-style-type: none"> ・4/1 染野 貴寛氏が当協会から研修生として配属 ・「全国在宅医療会議」(鈴木)：4/25、2/15 ・厚生労働副大臣勉強会参加(早坂、坪田)：4/23 医政局総務課 データシステム MANBO 説明(早坂、小野沢、飯島)：9/19 健康局がん疾病対策課「がんとの共生のあり方に関する検討会」(前田)：3/13
ワー 日本 ーカー ソー 連シ 盟ャ ル	あり方ワーキンググループ：7/27、10/12、12/14、3/1 倫理綱領検討委員会：5/25、8/24、9/28、11/30、1/25、2/28 代表者会議：4/20、6/8、7/27、10/12、12/14、3/1 国際委員会：5/18、8/3、10/5、12/7、2/1 ハンセン委員会：7/28、10/13、12/15、2/2 事務局長会議：6/6、7/23、8/3、10/9、11/26 IFSW 参加(アイルランド ダブリン)：7/3~7/8 jfsw.org/
S C S	代表者会議：5/23、9/6、10/18、11/19、1/11、2/14、3/25 研究事業会議：4/5、9/6 賀詞交歓会：1/23
チ ーム 医療 推 進 協 議 会	総会(早坂、山崎、高橋)：5/31、3/28 理事会(早坂)：4/23、7/9、9/10、11/12、1/7、3/11 研修会(高橋)：10/27「チーム医療・他職種連携教育を考える」 ガイドブック作成ワーキンググループ(早坂)：4/18、5/25 出版： <ul style="list-style-type: none"> ・まんが冊子「歯科衛生士、視能訓練士、技師装具士、医療リンパドレナージセラピスト編」 ・「患者さんとともにあるチーム医療『チーム医療を推進するために』」 ・10周年記念誌 https://www.team-med.jp/specialist

<p>認定社会福祉士 認定・認定機構</p>	<p>理事会（早坂、片岡）：6/2、9/17、3/10 認定社会福祉士 7,000 人達成に向けた検討委員会（野口）：11/3、12/23、2/17、3/1 研修認定委員会（4回） 研修認定審査委員会（研修認定委員会内で開催） SV 企画運営委員会（10回） 個人認定委員会（5回） 苦情対応委員会（1回）</p>
<p>職能団体関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度日本看護協会通常総会：(6/12) ・四病院団体協議会賀詞交歓会（早坂・松重）：1/11 ・日本看護協会新年賀詞交歓会（野口・山崎）：1/17 ・（公社）全国老人保健施設協会「全国老人保健施設大会 埼玉」（野口）：10/17-18 ・（一社）東京都医療社会事業協会 総会（早坂）：5/30 ・（公社）埼玉県医療社会事業協会 総会（早坂）：6/2 ・（一社）北海道医療ソーシャルワーカー協会 大会（早坂）：6/9
<p>日本ソーシャルワーク 教育学校連盟</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・5/8 日本ソーシャルワーク教育学校連盟 理事会（坪田）：5/8、3/14
<p>その他関係団体関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第 4 回患者・家族メンタル支援学会学術総会 シンポジスト座長（岡村）：10/27 ・第 23 回日本緩和医療学会学術大会（岡村）：6/16 ・みずほ情報総研（株）「治療と職業生活の両立支援対策事業」（労働基準局安全衛生部委託事業）（早坂）：8/31、10/29、1/15 ・韓国医療ソーシャルワーカー協会 フォールシンポジウム（早坂、小原）：10/25～27

2018年度 研修プログラム

2018年度医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅰプログラム

【東京会場】(第78回医療ソーシャルワーカー初任者講習会)

日	時	講義名	講師
8/8 (水)	10:00~ 10:15	開講式・オリエンテーション	研修統括事業部
	10:15~ 11:15	Session 1 厚生労働行政の動向	国立保健医療科学院 上席主任研究官 玉置 洋
	11:30~ 12:30	Session 2 日本における医療ソーシャルワークの成立と課題	北里大学病院 早坂由美子
	13:30~ 15:00	Session 3-8 生活機能障害とソーシャルワーク	やわたメディカルセンター 林 真紀
	15:15~ 16:45	Session 11 医療ソーシャルワークと記録	国立病院機構神奈川病院 水野 茂樹
8/9 (木)	9:00~ 10:30	Session 5 社会保障制度とソーシャルワーク	横浜市立大学附属病院 友田 安政
	10:45~ 12:15	Session 6 診療報酬とソーシャルワーク	JCHO 東京新宿メディカルセンター 山崎まどか
	13:15~ 14:45	Session 3-3 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識③ がん	国立がん研究センター中央病院 医師 堀之内秀仁
	15:00~ 16:30	Session 3-7 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識⑦ 在宅療養	あおぞら診療所 医師 川越 正平
	16:45~ 18:45	Session 7 支援方法論 チーム医療と地域連携	国立病院機構高崎総合医療センター 篠原 純史
8/10 (金)	9:00~ 10:30	Session 3-4 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識④ 緩和ケア	筑波メディカルセンター病院 医師 志真 泰夫
	10:45~ 12:15	Session 3-5 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識⑤ アルコール関連問題とアディクション	まこと心のクリニック 医師 山田 耕一
	13:15~ 15:15	Session 10 支援方法論 アセスメントⅠ	静岡県立静岡がんセンター 福地 智巴
	16:00~ 17:30	Session 3-6 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識⑥ 認知症	北里大学 精神科学 医師 新井 久稔
8/11 (土)	9:00~ 12:10	Session 8 医療における『家族』の理解	葛飾赤十字産院 山根 珠妃
	13:10~ 14:40	Session 3-2 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識② 脳卒中と連携バス	JCHO 東京新宿メディカルセンター 医師 室生 祥
	14:55~ 17:05	Session 4 医療ソーシャルワークの価値と倫理Ⅰ	国立病院機構北海道医療センター 保科 健
	17:20~ 18:50	Session 3-2 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識① 糖尿病と合併症	医療法人社団松和会 医師 谷亀 光則
8/12 (日)	9:00~ 12:10	Session 9 支援方法論 ミクロ・メゾ (自己理解・他者理解・コミュニケーションスキル・面接技術)	東京福祉大学 中里 哲也 (山口 広作、篠原 直樹)
	13:10~ 15:10	Session 12 事例検討の方法と実践の検証	ときわ会常盤病院 鈴木 幸一
	15:10~ 15:25	閉講式	研修統括事業部
	15:25~ 15:45	アンケート等の記入	研修統括事業部

【兵庫会場】(第79回医療ソーシャルワーカー初任者講習会)

日	時	講義名	講師
11/21 (水)	10:30~ 10:45	開講式・オリエンテーション	研修統括事業部
	10:45~ 11:45	Session 1 厚生労働行政の動向	順天堂大学医学部眼科学講座 先任准教授 平塚 義宗
	12:00~ 13:00	Session 2 日本における医療ソーシャルワークの成立と課題	一般社団法人TMG本部 野口 百香
	14:00~ 15:30	Session 3-8 生活機能障害とソーシャルワーク	やわたメディカルセンター 林 真紀
	15:45~ 17:15	Session 3-3 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識③ がん	神戸赤十字病院 医師 黒田 浩平
11/22 (木)	9:00~ 10:30	Session 5 社会保障制度とソーシャルワーク	横浜市立大学附属病院 友田 安政
	10:45~ 12:15	Session 1 1 医療ソーシャルワークと記録	大阪急性期・総合医療センター 佐原 直幸
	13:15~ 14:45	Session 3-6 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識⑥ 認知症	六甲アイランド甲南病院 医師 小倉 純
	15:00~ 16:30	Session 3-4 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識④ 緩和ケア	東神戸病院 医師 大西 和雄
	16:45~ 18:45	Session 1 0 支援方法論 アセスメント I	WITH 医療福祉実践研究所 田村 里子
11/23 (金)	9:00~ 10:30	Session 3-1 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識① 糖尿病と合併症	神戸赤十字病院 医師 川島 邦博
	10:45~ 12:15	Session 3-5 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識⑤ アルコール関連問題とアディクション	ひがし布施クリニック 医師 辻本 士郎
	13:15~ 14:45	Session 3-2 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識② 脳卒中	適寿リハビリテーション病院 医師 公文 敦
	15:00~ 16:30	Session 3-7 医療ソーシャルワーカーに必要な医学知識⑦ 在宅療養	ふるかわ医院 医師 古河 聡
	16:45~ 18:55	Session 4 医療ソーシャルワークの価値と倫理 I	国立病院機構北海道医療センター 保科 健
11/24 (土)	9:00~ 10:30	Session 6 診療報酬とソーシャルワーク	苫小牧市立病院 梅木 秀俊
	10:45~ 12:45	Session 7 支援方法論 チーム医療と地域連携	東神戸病院 才田 靖人
	13:45~ 16:55	Session 9 支援方法論 ミクロ・メゾ (自己理解・他者理解・コミュニケーションスキル・面接技術)	東京福祉大学 中里 哲也 (笠間 沙織)
11/25 (日)	9:00~ 12:10	Session 8 医療における『家族』の理解	高槻病院 田口真規子
	13:10~ 15:10	Session 1 2 事例検討の方法と実践の検証	済生会京都府病院 島田 浩
	15:10~ 15:25	閉講式	研修統括事業部
	15:25~ 15:45	アンケート等の記入	研修統括事業部

2018年度医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅱプログラム

【東京会場】

日	時	講義名	講師
7/14 (土)	10:00~ 10:10	開講式・オリエンテーション	研修統括事業部
	10:10~ 12:10	Session 1 医療ソーシャルワークの価値と倫理Ⅱ	田園調布学園大学 松本 葉子
	13:10~ 15:10	Session4 医療ソーシャルワークのアドボカシー	国立病院機構まつもと医療センター 植竹 日奈
	15:25~ 17:45	Session6 ソーシャルワークリサーチ	東京福祉大学 中里 哲也
7/15 (日)	9:30~ 12:10	Session2 医療ソーシャルワーク業務改善・開発とマネジメント	国立病院機構高崎総合医療センター 篠原 純史
	13:10~ 15:50	Session3 支援方法論 地域連携とネットワーキング	千葉大学医学部附属病院 葛田 衣重
	16:05~ 18:25	Session7 スーパービジョン	札幌麻生脳神経外科病院 星野 由利子
7/16 (月)	9:30~ 15:10	Session5 支援方法論 アセスメントⅡ	WITH 医療福祉実践研究所 田村 里子
	15:10~ 15:40	Session5 レポート課題作成	研修統括事業部
	15:40~ 15:55	閉講式	研修統括事業部

【広島会場】

日	時	講義名	講師
2/9 (土)	09:30~ 9:40	開講式・オリエンテーション	研修統括事業部
	09:40~ 12:00	Session6 ソーシャルワークリサーチ	久留米大学 片岡 靖子
	13:00~ 15:40	Session2 医療ソーシャルワーク業務改善・開発とマネジメント	岡山大学病院 石橋 京子
	15:55~ 18:15	Session 7 スーパービジョン	大阪急性期・総合医療センター 佐原 直幸
2/10 (日)	10:00~ 12:00	Session 1 医療ソーシャルワークの価値と倫理Ⅱ	大阪人間科学大学 大野まどか
	13:00~ 17:40	Session5 支援方法論 アセスメントⅡ	静岡県立静岡がんセンター 福地 智巴
2/11 (月)	09:00~ 11:40	Session 3 支援方法論 地域連携とネットワーキング	広島文化学園大学 大塚 文
	11:40~ 12:10	Session 3レポート課題作成	研修統括事業部
	13:10~ 15:10	Session 4 医療ソーシャルワークのアドボカシー	国立病院機構大阪医療センター 岡本 学
	15:10~ 15:40	Session 4レポート課題作成	研修統括事業部
	15:40~ 15:55	閉講式	研修統括事業部

2018 年度実習指導者養成認定研修プログラム

【東京会場】

日	時	内 容	講 師
9/15 (土)	13:00~13:30	オリエンテーション等	講師 日本福祉大学 田中千枝子 ルーテル学院大学 名誉教授 福山 和女 ファシリテーター 大阪急性期・総合医療センター 佐原 直幸 天理大学 鳥巢 佳子 札幌麻生脳神経外科病院 星野由利子 西片医療福祉研究会 山田美代子
	13:30~14:55	実習指導概論	
	15:05~16:35	実習マネジメントⅠ	
	16:45~17:15	実習マネジメントⅡ	
	17:15~18:50	実習プログラミングⅠ	
	18:50~19:00	フィードバック	
9/16 (日)	09:30~10:35	実習プログラミングⅡ	
	10:45~12:00	実習評価	
	13:00~14:25	人の尊厳	
	14:35~17:00	実習スーパービジョン1	
	17:10~17:40	フィードバック	
9/17 (月)	09:30~10:20	実習スーパービジョン2	
	10:20~12:30	実習スーパーバイザー会議1	
	13:30~14:00	実習スーパーバイザー会議2	
	14:00~14:30	フィードバック	
	14:30~14:45	チェックリスト	
	15:00~15:30	全体フィードバック	
	15:30~16:30	まとめ	

【大阪会場】

日	時	内 容	講 師
11/23 (金)	13:00~13:30	オリエンテーション等	講師 日本福祉大学 田中千枝子 ルーテル学院大学 名誉教授 福山 和女 ファシリテーター 大阪急性期・総合医療センター 佐原 直幸 札幌麻生脳神経外科病院 星野由利子 西片医療福祉研究会 山田美代子
	13:30~14:55	実習指導概論	
	15:05~16:35	実習マネジメントⅠ	
	16:45~17:15	実習マネジメントⅡ	
	17:15~18:50	実習プログラミングⅠ	
	18:50~19:00	フィードバック	
11/24 (土)	09:30~10:35	実習プログラミングⅡ	
	10:45~12:00	実習評価	
	13:00~14:25	人の尊厳	
	14:35~17:00	実習スーパービジョン1	
	17:10~17:40	フィードバック	
11/25 (日)	09:30~10:20	実習スーパービジョン2	
	10:20~12:30	実習スーパーバイザー会議1	
	13:30~14:00	実習スーパーバイザー会議2	
	14:00~14:30	フィードバック	
	14:30~14:45	チェックリスト	
	15:00~15:30	全体フィードバック	
	15:30~16:30	まとめ	

2018年度スーパーバイザー養成認定研修プログラム

【兵庫会場】

日	時	講 義 内 容	講 師
10/20 (土)	9:30~ 9:45	オリエンテーション	ルーテル学院大学 名誉教授 福山 和女 東海大学 堀越由紀子 日本社会事業大学 小原真知子
	9:45~ 9:55	評価尺度（事前）作成	
	9:55~ 13:00	Session 1 組織内外のスーパービジョン体制 Session 2 包括的スーパービジョン体制	
	14:00~ 16:50	Session 3 スーパービジョンのための理論 Session 4 スーパービジョン体制の様式・形態・課題	
	17:00~ 19:50	Session 5 組織におけるスーパービジョン体制の意義	
	19:50~ 20:00	アンケートの記入	
10/21 (日)	9:30~ 12:10	Session 6 スーパービジョンの計画作り	
	12:10~ 12:20	評価尺度（事後）作成	
	12:20~ 12:30	アンケートの記入	

【東京会場】

日	時	講 義 内 容	講 師
10/27 (土)	9:30~ 9:45	オリエンテーション	ルーテル学院大学 名誉教授 福山 和女 東海大学 堀越由紀子 日本社会事業大学 小原真知子
	9:45~ 9:55	評価尺度（事前）作成	
	9:55~ 13:00	Session 1 組織内外のスーパービジョン体制 Session 2 包括的スーパービジョン体制	
	14:00~ 16:50	Session 3 スーパービジョンのための理論 Session 4 スーパービジョン体制の様式・形態・課題	
	17:00~ 19:50	Session 5 組織におけるスーパービジョン体制の意義	
	19:50~ 20:00	アンケートの記入	
10/28 (日)	9:30~ 12:10	Session 6 スーパービジョンの計画作り	
	12:10~ 12:20	評価尺度（事後）作成	
	12:20~ 12:30	アンケートの記入	

2018年度ソーシャルワーク スキルアップ研修プログラム

スーパービジョン

日 時	内 容	講 師	
10/6 (土)	10:00～ 10:10	開講挨拶 オリエンテーション	ソーシャルワーカー ・サポートセンター名古屋 浅野 正嗣
	10:10～ 12:10	講義 スーパービジョンの理論	
	13:10～ 14:45	講義・演習 支持的スーパービジョン	
	15:00～ 15:55	演習 グループスーパービジョンの倫理と課題	
	15:55～ 16:10	まとめ	
	16:10～ 16:25	閉講挨拶	

アセスメント

日 時	内 容	講 師	
2/2 (土)	10:00～ 10:10	挨拶 オリエンテーション：研修の意図	WITH 医療福祉実践研究所 田村 里子
	10:10～ 11:10	ミニレクチャー1 「ソーシャルワークにおけるアセスメントとは」	
	11:10～ 11:20	アイスブレイキング	
	11:20～ 12:00	ワーク① グループワーク 事例の共有・可視化	
	13:00～ 13:40	ミニレクチャー2 「アセスメントを導く面接」	
	13:40～ 14:00	ワーク② グループワーク アセスメントを導く面接への作戦会議	
	14:10～ 14:20	ウォーミングアップ	
	14:20～ 15:00	ワーク③ ロールプレイ アセスメントを導く面接の実際	
	15:00～ 15:15	全体共有	
	15:15～ 15:25	ミニレクチャー3 「アセスメントの記述」	
	15:35～ 16:30	ワーク④ アセスメントの記述と発表	
16:30～ 17:00	まとめ		

インテグレイティブ・ショートターム・トリートメント（統合的短期型支援）

日 時		内 容		講 師
12/1 (土)	10:00~ 10:20	Session 1	グループ・自己紹介	講師 ルーテル学院大学 名誉教授 福山 和女
	10:20~ 11:20		ソーシャルワーク理論と統合的短期型支援（ISTT）	
	11:20~ 11:50	Session 2	時代背景とソーシャルワーク理論を考える	
	13:45~ 14:45	Session 3	ソーシャルワークにおける理論の意義を理解する	
	15:00~ 16:30	Session 4	危機志向型 ISTT を理解する	
	16:40~ 17:40	Session 5	ISTT の展開過程の概要	
12/2 (日)	9:20~ 9:30	前日の振り返り		日本社会事業大学 小原真知子
	9:30~ 11:00	Session 6	ソーシャルワーク援助の対象者と介入を理解する	
	11:10~ 12:40	Session 7	ソーシャルワーク援助と ISTT の主要な特徴を理解する	
	13:40~ 16:00	Session 8	理論的根拠に基づいたアセスメント	

面接技術 ～ソリューション・フォーカスト・アプローチ～

日 時	内 容	講 師	
4/29 (日)	10:30～ 12:00	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介 援助のプロセスと援助技法 エンゲージメントの段階で用いるスキル <ul style="list-style-type: none"> Anticipatory empathy ミラーリング イエスセット 援助の合意を得る一言 	東京福祉大学 中里 哲也 城山病院 山口 広作 横浜市南福祉保健センター 篠原 直樹 北海道循環器病院 笠間 沙織
	13:00～ 16:30	<ul style="list-style-type: none"> 情報収集段階で用いるスキル <ul style="list-style-type: none"> SFAの質問の型 GPの実践例 	
5/27 (日)	10:30～ 12:00	<ul style="list-style-type: none"> Good Practiceから学ぶ <ul style="list-style-type: none"> SFAを使って違ってきたこと、グッド・プラクティスを共有 SFA Q&A 例外を聞くことの意味 理解的な聞き方 <ul style="list-style-type: none"> AI (Appreciative Inquiry): EARS <ul style="list-style-type: none"> Elicit Amplify Reflect Start Over 	
	13:00～ 16:30	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉の理論の枠組みに沿った情報収集をSFAの質問の型を援用する 	
7/1 (日)	10:30～ 12:00	<ul style="list-style-type: none"> Good Practiceから学ぶ <ul style="list-style-type: none"> SFAを使って違ってきたこと、グッド・プラクティスを共有 SFA Q&A 	
	13:00～ 16:30	<ul style="list-style-type: none"> アセスメントの段階の技術 <ul style="list-style-type: none"> アセスメントの枠組みに沿った聞き方 <ul style="list-style-type: none"> ライフ・モデル システム ソーシャルワーカーが理解したことを言語化する アセスメントと整合性のあるプランを立て、クライアントの合意を得る 解決志向と問題解決 	

記録 ～プロセスからプログレス記録～

日 時	内 容	講 師
9/22 (土)	10:00～ 12:00	アアライ株式会社 八木亜紀子
	13:00～ 16:00	

記録 ～プロセスからプログレス記録～ アドバンス

日 時	内 容	講 師
9/23 (日)	10:00～ 12:00	アアライ株式会社 八木亜紀子
	13:00～ 16:00	

退院支援ソーシャルワーク専門研修【北海道会場】

日 時	内 容	講 師	
7/7 (土)	13:00~ 13:15	オリエンテーション	研修統括事業部
	13:15~ 14:15	講演 医療ソーシャルワーカーに望む退院支援	勤医協札幌西区病院 副院長/在宅医療部長 吉澤 朝弘
	14:15~ 15:35	講義 退院支援業務の概観 ～その支援の焦点と課題～	日本福祉大学 田中千枝子
	15:45~ 16:15	アイスプレイングによるグループ分け 係決め(発表者・書記)	田中千枝子 佐原まち子
	16:15~ 17:30	話し合い KJ法作業による「退院支援に関する困難」の構造、 関連図作成	
	17:30~ 18:10	発表	
	18:10~ 18:40	退院支援課題に対する介入方法の検討・作業	
	18:40~ 19:00	まとめ 投票	
7/8 (日)	9:00~ 09:15	講義 退院支援のメソマクロの実践とスキル	田中 千枝子
	9:15~ 11:00	SWOT方式における 組織・地域アセスメント作業 グループ内フィードバックを入れながら、業務改善計画策定	
	11:10~ 12:10	講義 MSWとNSの協働による退院支援	市立札幌病院 地域医療連携センター 入退院支援係専従看護師 相澤 友子
	13:10~ 14:10	講義 退院支援におけるSWアセスメントの重要性 ～アセスメントツールとしてのエコマップの活用～	WITH 医療福祉実践研究所 佐原まち子
	14:10~ 14:45	事例①を読み込み、エコマップの作成、発表	
	15:00~ 15:25	事例②を読み込み、エコマップ作成、アセスメントを書く	
	15:25~ 16:00	エコマップとアセスメント発表とコメント	
16:00~ 16:20	エコマップ質疑・全体フィードバック 講師コメント	佐原まち子 田中千枝子	

退院支援ソーシャルワーク専門研修【大阪会場】

日 時	内 容	講 師	
11/3 (土)	13:00~ 13:15	オリエンテーション	研修統括事業部
	13:15~ 14:15	講演 医療ソーシャルワーカーに望む退院支援	医療法人 みんと会 きむ医療連携クリニック 理事長 医師 西原 承浩
	14:15~ 15:35	講義 退院支援業務の概観 ～その支援の焦点と課題～	日本福祉大学 田中千枝子
	15:45~ 16:15	アイスブレイキングによるグループ分け 係決め(発表者・書記)	田中千枝子 佐原まち子
	16:15~ 17:30	話し合い KJ法作業による「退院支援に関する困難」の構造、 関連図作成	
	17:30~ 18:10	発表	
	18:10~ 18:40	退院支援課題に対する介入方法の検討・作業	
	18:40~ 19:00	まとめ 投票	
11/4 (日)	9:00~ 09:15	講義 退院支援のメソマクロの実践とスキル	田中千枝子
	9:15~ 11:00	SWOT方式における 組織・地域アセスメント作業 グループ内フィードバックを入れながら、業務改善計画策定	
	11:10~ 12:10	講義 MSWとNSの協働による退院支援	大阪急性期・総合医療センター 患者総合支援センター副所長 副看護部長 春岡登志子
	13:10~ 14:10	講義 退院支援におけるSWアセスメントの重要性 ～アセスメントツールとしてのエコマップの活用～	WITH 医療福祉実践研究所 佐原まち子
	14:10~ 14:45	事例①を読み込み、エコマップの作成、発表	
	15:00~ 15:25	事例②を読み込み、エコマップ作成、アセスメントを書く	
	15:25~ 16:00	エコマップとアセスメント発表とコメント	
16:00~ 16:20	エコマップ質疑・全体フィードバック 講師コメント	佐原まち子 田中千枝子	

周産期から始まるソーシャルワーク研修

日 時	内 容	講 師	
3/9 (土)	10:00～ 10:15	オリエンテーション	講師 石井記念愛染園附属愛染橋病院 上原 玲 聖隷浜松病院 内田 美加 東京都立墨東病院 柿沼 千秋 愛仁会高槻病院 田口眞規子 埼玉県立小児医療センター 平野 朋美 神戸学院大学 宮崎 清恵
	10:15～ 11:00	講義Ⅰ 周産期ソーシャルワーク概論	
	11:00～ 12:00	講義Ⅱ 実践力・実践モデル概論(1)	
	13:00～ 14:30	講義Ⅲ 実践力・実践モデル概論(2)	
	14:40～ 15:25	講義Ⅳ 実践モデル応用編	
	15:25～ 16:10	講義Ⅴ 知識の応用：クライアント理解	
	16:10～ 16:55	講義Ⅵ 知識の応用：価値と倫理	
	17:05～ 17:20	演習Ⅰ-1 個人ワーク	
	17:20～ 17:55	演習Ⅰ-2 グループワーク	
	17:55～ 18:10	グループ発表	
18:10～ 18:30	質問・翌日オリエンテーション		
3/10 (日)	9:00～ 09:15	オリエンテーション	医療法人財団はるたか会 医師 前田 浩利 ファシリテーター 国立成育医療研究センター 佐藤 杏 葛飾赤十字産院 山根 珠妃
	9:15～ 10:45	講義Ⅶ 小児医療の理解	
	11:00～ 11:45	講義Ⅷ 知識の応用：地域連携	
	11:45～ 12:35	演習Ⅱ 課題1	
	13:35～ 15:30	演習Ⅱ グループスーパービジョン	
	15:30～ 16:00	グループ発表	
	16:00～ 16:30	質疑応答・振り返り・アンケート	

ソーシャルワークにおける就労支援

日 時	内 容	講 師	
1/26 (土)	10:00～ 10:05	開講挨拶	研修統括部
	10:05～ 11:00	がんと就労 ー政策的動向ー	厚生労働省 健康局 がん・疾病対策課 相談支援専門官 小野由布子
	11:00～ 12:15	産業医の立場からみた就労支援	ひたちなか総合病院 水戸健康管理センタ 医師 中谷 敦
	13:15～ 14:05	両立支援コーディネーターについて	独立行政法人労働者健康安全機構 勤労者医療・産業保健部 勤労者医療課 課長 小川 裕由
	14:05～ 15:15	MSWが行う就労支援と社会資源	広島文化学園大学 看護学部看護学科 教授 大塚 文
	15:25～ 16:25	グループ演習 就労支援の実際	研修統括事業部
	16:25～ 16:30	アンケート記入	研修統括事業部

緩和ケアにおけるソーシャルワーク ～いのちに向き合う～

日 時	内 容	講 師	
1/19 (土)	10:00～ 12:00	基調講演 「いのち」に向き合うー緩和ケアの原点	関西学院大学大学院 藤井 美和
	13:00～ 13:10	オリエンテーション 研修意図	WITH 医療福祉実践研究所 田村 里子
	13:10～ 13:50	講義 怒りをどのように理解し 向き合い支援するか	静岡県立静岡がんセンター 福地 智巴
	13:50～ 15:30	演習 事例をもとに 個別性の把握・理解のための 「怒り」に関する知識 「怒り」に適切に向き合うための面接技術	田村 里子 福地 智巴
	15:40～ 16:00	講義 ソーシャルワーク：その支援の本質	田村 里子
	16:00～ 16:30	分かち合い&まとめ	田村 里子 福地 智巴

ソーシャルワークにおける臨床倫理

日 時	内 容	講 師	
7/29 (日)	10:00～ 11:00	講義 臨床倫理の基本：臨床倫理にもとづく相談支援	東京大学 人文社会系研究科 次世代人文学開発センター 上廣死生学講座 特任教授 会田 薫子
	11:00～ 12:00	講義 「臨床倫理シート」による要点の整理と考え方	
	13:00～ 14:30	臨床倫理シートを用いた検討 (話題提供・質疑、グループワーク) 「神経難病領域における意思決定支援」	事例提供者 愛知医科大学病院 小堤 歩
			講師 清水 哲郎 会田 薫子
	14:30～ 16:00	講義 本人・家族の意思決定支援 一直近の選択と将来についての心積り	岩手保健医療大学 学長 清水 哲郎
16:00～ 16:30	まとめ	倫理綱領検討担当チーム	

「家族療法」についてのワークショップ

日 時	内 容	講 師	
5/12 (土)	10:00～ 11:00	家族とは	中村心理療法研究室 代表 中村 伸一
	11:00～ 12:00	家族療法とは 家族療法の適応 システム論とコミュニケーションモデル 家族の構造 家族の歴史を紐解く	
	12:00～ 12:30	DVD 演習 ジェノグラムワークを用いた面接	
	13:30～ 14:45	演習 ジェノグラムを用いて家族の歴史を紐解く	
	15:00～ 16:15	DVD による解説 ジェノグラムを用いて家族の歴史を紐解く	
	16:15～ 16:30	質疑 ディスカッション	

認知症高齢者へのソーシャルワーク支援

日 時	内 容	講 師	
11/10 (土)	9:55~ 10:00	オリエンテーション	研修統括事業部
	10:00~ 12:00	基本的な医学知識と最新情報 ～認知症の方を理解するために	筑波大学 教授 新井 哲明
	13:00~ 15:20	事例を通して学ぶ 退院援助と院外連携	東京都健康長寿医療センター 認知症支援推進センター 認知症支援担当係長 畠山 啓
	15:30~ 16:30	権利擁護 成年後見と意思決定への支援	法律事務所たいとう 弁護士 佐藤 香代

ソーシャルワーカーとコミュニティデザイン

日 時	内 容	講 師	
11/3 (土)	10:00~ 11:00	講義 地域共生社会とそこでのソーシャルワーカーの役割	一般社団法人 Medical Studio 代表理事 坂本 文武
	11:00~ 12:00	グループワーク1 気になる地域課題をあげ、それが誰にとってどのような問題 なのか、を議論してみる	
	13:00~ 14:00	グループワーク2 班で1つのテーマを取り上げ、近い未来に見たい状態をで きるだけ具体的に描く	
	14:00~ 14:20	ミニレクチャー ここまでのワークの意味や注意点、次に考えるプロジェクト を立案する際の視点を整理する	
	14:35~ 16:00	グループワーク3	
	16:00~ 16:20	まとめ	

アディクションにおけるソーシャルワーク実践研修

日 時	内 容	講 師	
10/21 (日)	10:00~ 10:20	オリエンテーション・アディクションの構造	東海大学 稗田 里香 同志社大学 野村 裕美 北里大学病院 左右田 哲
	10:20~ 10:40	演習 事前課題振り返り	
	10:40~ 12:00	講義 実践に必要な基礎知識	
	13:00~ 14:10	講義と演習 動機づけ面接	
	14:20~ 14:35	講義 社会資源の紹介	
	14:35~ 16:15	講義と演習 回復者からのメッセージ	
	16:15~ 16:30	まとめ	
	16:15~ 16:30	まとめ	

交通事故被害者生活支援研修

日 時	内 容	講 師	
2/10 (日)	9:30～ 9:40	開会あいさつ 趣旨説明	交通事故被害者生活支援研修チーム
	9:40～ 10:40	講義 1 交通事故に関する損害保険制度の基礎知識	一般社団法人 日本損害保険協会 業務企画部 自動車・海上グループ 主任 大嶋 菜摘
	10:40～ 11:25	講義 2 自動車事故被害者への支援について	国土交通省 自動車局 保障制度参事官室 被害者保護企画調整官 宮本 勇二
	11:25～ 11:50	アイスブレイク 自己紹介、 『交通事故被害者生活支援連携手帳』について など	交通事故被害者生活支援研修チーム
	12:50～ 14:10	講義 3 交通事故被害者の心理について	淑徳大学 総合福祉学部実践心理学科 教授 大橋 康史
	14:20～ 16:20	演習 グループワーク「交通事故被害者への支援の実際」	交通事故被害者生活支援研修チーム
	16:20～ 16:30	まとめ アンケート記入	交通事故被害者生活支援研修チーム

2018 年度人材開発・養成講座プログラム

日 時	内 容	講 師	
2/3 (日)	10:00～ 10:10	オリエンテーション	日本福祉大学 田中千枝子 ルーテル学院大学 名誉教授 福山 和女
	10:10～ 10:30	研修の目標設定 ディスカッション	
	10:30～ 12:00	講義 人材養成とスーパービジョン 新人対象 新任対象	
	12:00～ 13:00	昼 食	
	13:00～ 14:00	事例 1 セッション演習	
	14:10～ 15:10	事例 2 セッション演習	
	15:20～ 16:30	まとめ フィードバック	

2018 年度社会福祉を学ぶ学生のための医療ソーシャルワーク学生講座プログラム

日 時	講 義 内 容	講 師	
3/2 (土)	13:00～ 13:20	開講式 スタッフ紹介とオリエンテーション	研修統括事業部
	13:20～ 13:40	アイスブレイキング	研修統括事業部
	13:40～ 14:30	Session 1 医療ソーシャルワーカーの歴史	日本医療社会福祉協会 副会長 鈴木 幸一
	14:45～ 16:15	Session 2 医療ソーシャルワーカーの業務	東京医科大学病院 大竹口幸子
	16:30～ 18:00	Session 3 必要な医学知識 地域医療とターミナルケア	望星大根クリニック 医師 谷亀 光則
	18:00～ 19:00	Session 4 グループディスカッション1	東京医科歯科大学医学部附属病院 阿部 靖子 北里大学病院 市川 賀一 岩手県立大学 伊藤 隆博 東京医科大学病院 大竹口幸子 国立がん研究センター東病院 坂本はと恵 国立病院機構高崎総合医療センター 篠原 純史 横浜市立大学附属市民総合医療センター 杉本 彩 横浜市立大学附属病院 瀬尾 緑 介護老人保健施設 シーダ・ウォーク 関田 歩 東京福祉大学 中里 哲也 北里大学病院 宮本 竜也
3/3 (日)	9:30～ 11:00	Session 5 多職種とのチーム医療等	国立病院機構高崎総合医療センター 篠原 純史
	11:15～ 12:45	Session 6 社会保障制度とソーシャルワーク	東京医科歯科大学医学部附属病院 阿部 靖子
	13:45～ 15:45	Session 7 グループディスカッション2	東京医科歯科大学医学部附属病院 阿部 靖子 北里大学病院 市川 賀一 岩手県立大学 伊藤 隆博 東京医科大学病院 大竹口幸子 国立がん研究センター東病院 坂本はと恵 国立病院機構高崎総合医療センター 篠原 純史 横浜市立大学附属市民総合医療センター 杉本 彩 横浜市立大学附属病院 瀬尾 緑 介護老人保健施設 シーダ・ウォーク 関田 歩 東京福祉大学 中里 哲也 北里大学病院 宮本 竜也
	15:45～ 16:00	閉講式	研修統括事業部

保健医療分野におけるソーシャルワーク専門研修プログラム（2018年度）

スクーリング日程

（第14期）

	内 容	講 師	ファシリテーター
第1日目	【講義と演習Ⅰ】 社会福祉と倫理 —自分の実践を振り返る—	長尾 式子 (北里大学看護学部)	小松美智子 (武蔵野大学) 笹岡 真弓 (文京学院大学) 左右田 哲 (北里大学病院) 高橋 恭子 (神奈川県立保健福祉大学) 田中千枝子 (日本福祉大学) 南本 宜子 (済生会京都府病院) 林 真紀 (やわたメディカルセンター) 林 真帆 (別府大学) 藤田 譲 (白鷺病院) 保科 健 (国立病院機構北海道医療センター) 宮崎 清恵 (神戸学院大学)
	【講義と演習Ⅱ】 連携のためのリフレクティング	矢原 隆行 (熊本大学大学院)	
第2日目	【講義B】 地域共生社会の実現にむけて	原田 正樹 (日本福祉大学社会福祉学部)	
	【講義と演習Ⅲ】 家族尊厳について 家族支援と家族アセスメント	福山 和女 (ルーテル学院大学)	
	【講義と演習Ⅳ】 メソレベルのソーシャルワークを展開するためのアセスメント ～相談室から行なう地域活動～		
第3日目	【講義D】 ソーシャルワークの実践能力を評価するルーブリックの作成	保正 友子 (日本福祉大学社会福祉学部) 檜木 博之 (身延山大学)	
	【講義C】 医療・介護政策の動向 —病床機能再編と地域包括ケアを中心に—	西村 淳 (神奈川県立保健福祉大学)	
	【講義A】 福祉専門職(SW)の働き —その世界を展望する—	鈴木 五郎 (国際医療福祉大学)	

2018年度 人権擁護とソーシャルワーク研修

社会で自分らしく働くために～HIV 陽性者の就労支援から学ぶ～ プログラム

【広島会場】

担当：社会貢献事業部

日 時	内 容	講 師	
10/7 (日)	9:00～ 9:05	開会あいさつ 趣旨説明	
	9:05～ 10:05	講義1 HIVの基礎知識	広島大学病院 エイズ医療対策室室長 医師 藤井 輝久
	10:05～ 10:25	グループワーク1 自己紹介と意見交換	
	10:30～ 11:30	講義2 HIV 陽性者の就労支援	国立病院機構大阪医療センター MSW 岡本 学
	11:30～ 11:45	グループワーク2 意見交換	
	11:45～ 12:15	講義3 HIV 感染血友病患者の歴史と就労	当事者
	13:15～ 15:20	グループワーク3 当事者と就労受入れ側の体験から多職種で連携のあり方を考える ①当事者S氏からのお話(20分) ②坂本夏子氏からのお話(20分) 司会 村上 英子(広島大学病院 MSW) 前田 英武(高知大学医学部附属病院 MSW) ③グループ検討「私にできることを見つける」 ④グループ発表・まとめ	
	15:20～ 15:30	まとめ アンケート記入	

歴史を踏まえソーシャルワークを語ろう プログラム

【石川会場】

日 時	内 容	講 師	
1/14 (日)	10:00～ 10:05	開会あいさつ 趣旨説明	
	10:05～ 11:05	講義1 HIV/AIDS から見るソーシャルワークの今日的課題	京都ノートルダム女子大学 現代人間学部 教授 小西加保留
	11:05～ 11:35	講義2 HIV/AIDS 医療の最新情報	石川県立中央病院 免疫感染症科 科長 渡邊 珠代
	11:45～ 12:35	講義3 薬害エイズを語る	大阪HIV薬害訴訟原告団 理事 森戸 克則
	13:30～ 15:15	パネルディスカッション HIVとソーシャルワークを語る～実践の取り組みから～ 司会 葛田 衣重(千葉大学医学部附属病院 SW) 助言者 小西加保留(京都ノートルダム女子大学 現代人間学部 教授) パネリスト 藤平 輝明(東京医科大学病院 SW) 三嶋 一輝(福井大学医学部附属病院 SW) 山本奈々穂(富山大学附属病院 SW) 山下美津江(石川県立中央病院 SW)	
	15:20～ 16:45	演習 グループディスカッション	
	16:45～ 17:00	まとめ アンケート記入	

災害福祉支援活動基礎研修 2018 プログラム

【東京会場】

担当：社会貢献事業部

日 時	講 義 内 容	講 師
9/29 (土)	10:30～ 11:30	講義1 総論 早稲田大学 大島 隆代
	11:40～ 12:40	講義2 災害医療について 東京女子医科大学東医療センター 赤星 昂己
	13:40～ 14:40	講義3 災害ボランティアセンター 全国社会福祉協議会 園崎 秀治
	14:50～ 15:50	講義4 法制度 丸の内総合法律事務所 中野 明安
	16:05～ 17:35	演習1 避難所での活動の実際 日本福祉大学 山本 克彦
	17:45～ 18:15	講義5 災害福祉を巡る施策動向、自治体との連携等 東京都社会福祉協議会 高橋 紘之
9/30 (日)	9:00～ 9:40	講義6 ニーズ調査 日本介護支援専門員協会 笠松 信幸
	9:55～ 11:25	演習2 チームカンファレンス 日本社会福祉士会 山本 純江 日本介護支援専門員協会 笠松 信幸
	12:20～ 13:50	演習3 支援の引継ぎ 日本社会事業大学 島津屋賢子 日本医療社会福祉協会 坪田 まほ
	14:00～ 15:00	講義7 多職種連携 宮崎大学 原田 奈穂子
	15:10～ 15:50	振り返り／支援者支援 日本精神保健福祉士協会 日本医療社会福祉協会
	15:50～ 16:00	閉会式 日本医療社会福祉協会

【群馬会場】

日 時	講 義 内 容	講 師
11/3 (土)	10:30～ 11:30	講義1 総論 桃山学院大学 川井太加子
	11:40～ 12:40	講義2 災害医療について 前橋赤十字病院 看護師長 高寺由美子
	13:40～ 14:40	講義3 災害ボランティアセンター 全国社会福祉協議会 園崎 秀治
	14:50～ 15:50	講義4 多職種連携 宮崎大学 原田奈穂子
	16:05～ 17:35	演習1 避難所での活動の実際 日本介護福祉士会 舟田 伸司
	17:45～ 18:15	講義5 DWATの支援活動について 群馬県社会福祉協議会 施設福祉課 鈴木 伸明

日 時	講 義 内 容	講 師	
11/4 (日)	9:00~ 9:40	講義6 ニーズ調査	日本介護支援専門員協会 笠松 信幸
	9:50~ 10:50	講義7 法制度	弁護士 館山 史明
	11:00~ 12:30	演習2 チームカンファレンス	日本社会福祉士会 山本 純江 日本介護支援専門員協会 笠松 信幸
	13:30~ 15:00	演習3 支援の引継ぎ	日本精神保健福祉士協会 森谷 就慶 日本医療社会福祉協会 笹岡 眞弓 日本医療社会福祉協会 坪田 まほ
	15:10~ 15:50	振り返り/支援者支援	日本精神保健福祉士協会 日本医療社会福祉協会
	15:50~ 16:00	閉会式	日本医療社会福祉協会

【徳島会場】

日 時	講 義 内 容	講 師	
2/9 (土)	9:30~ 10:30	講義1 総論	早稲田大学 大島 隆代
	10:40~ 11:40	講義2 災害医療について	国立病院機構災害医療センター内 DMAT 事務局 小井土雄一
	12:30~ 13:30	講義3 災害ボランティアセンター	全国社会福祉協議会 園崎 秀治
	13:40~ 14:40	講義4 多職種連携	宮崎大学 原田奈穂子
	14:50~ 16:20	演習1 避難所での活動の実際	日本福祉大学 山本 克彦
	16:20~ 16:50	講義5 災害福祉を巡る施策動向、自治体との連携等	徳島県危機管理部とくしまゼロ作戦課 谷 寛文
2/10 (日)	9:00~ 9:40	講義6 ニーズ調査	日本介護支援専門員協会 笠松 信幸
	9:50~ 10:50	講義7 法制度	浅田法律事務所 弁護士 堀井 秀知
	11:00~ 12:30	演習2 チームカンファレンス	日本社会福祉士会 山本 純江 日本介護支援専門員協会 笠松 信幸
	13:30~ 15:00	演習3 支援の引継ぎ	日本精神保健福祉士協会 河合 宏 日本精神保健福祉士協会 黒下 良一 日本医療社会福祉協会 笹岡 眞弓 日本医療社会福祉協会 坪田 まほ
	15:10~ 15:50	振り返り/支援者支援	日本精神保健福祉士協会 日本医療社会福祉協会
	15:50~ 16:00	閉会式	日本医療社会福祉協会

災害福祉支援活動体験型研修 2018 プログラム

【福岡会場】

担当：社会貢献事業部

日 時	講 義 内 容	講 師
10/20 (土)	10:30～ 11:00	事前説明：研修目的と日程について JASWHS
	11:00～ 12:00	講義1 コミュニティービルディング（地域と災害） 参加者の関係構築、地域とつながりの体験 日本福祉大学 山本 克彦
	12:00～ 13:30	昼食：災害時の非常食体験 JASWHS
	13:30～ 14:40	講義2 災害“現場”をイメージする 災害時の支援フェーズ、地震災害、豪雨水害等 の特徴を考える 災害時系列カードワーク 日本福祉大学 山本 克彦 Wellbe Design 理事長 篠原 辰二
	15:00～ 17:00	講義3 災害ソーシャルワーク・方法と展開① 災害発生～初動～緊急支援・被災者支援、被災地・ 被災者との協働への流れ 福祉支援の実際を体験する Wellbe Design 理事長 篠原 辰二
	19:00～ 21:00	トークセッション 過去の災害被災地でのソーシャルワークの実際 進行 ソ教連 小森 敦 日本福祉大学 山本 克彦 Wellbe Design 理事長 篠原 辰二
10/21 (日)	8:30～ 10:20	講義4 最近の災害時における保健医療体制 災害時医療における CSCA ワークも含めて 国立病院機構災害医療センター 災害医療部 小早川義貴
	10:30～ 12:00	演習1 避難所におけるアルコール依存症の被災者への支援 JASWHS
	13:00～ 14:30	演習2 被災自治体から外部支援に期待される福祉支援 JASWHS
	14:30～ 15:00	アンケート・修了証・閉会 JASWHS

2018年度人生最終段階における意思決定支援研修会プログラム

【岩手会場】

担当：調査研究事業部

日 時	内 容	講 師	
10/27 (土)	10:00～ 10:30	講義1 研修の意義とアイスブレイク（事前課題使用）	西岡病院 岡村 紀宏
	10:30～ 12:00	講義2 アドバンス・ケア・プランニングの地域への展開について	国立長寿医療研究センター 緩和ケア診療部・在宅連携医療部 医師 西川 満則
	13:00～ 14:30	講義3 人生の最終段階における臨床倫理と相談のあり方	岩手保健医療大学 学長 清水 哲郎
	14:45～ 16:15	講義4 人生の最終段階における「つなぐ」連携	みその生活支援クリニック 院長 小野沢 滋
	16:30～ 18:00	講義5 チーム医療におけるソーシャルワーカーの役割	WITH 医療福祉実践研究所 がん・緩和ケア部 田村 里子
10/28 (日)	9:00～ 10:30	講義6 意思決定に関する法的知識	きのした法律事務所 弁護士 木下正一郎
	10:45～ 12:15	講義7 アドバンス・ケア・プランニング～意思決定の支援	東京大学大学院 人文社会系研究科 死生学・応用倫理センター 上廣死生学・応用倫理講座 特任教授 会田 薫子
	13:00～ 16:10	講義8-1 & 2 人生の最終段階におけるソーシャルワーク支援	WITH 医療福祉実践研究所 がん・緩和ケア部 田村 里子
	16:10～ 16:30	アンケート記載	調査研究事業部

【福岡会場】

日 時	内 容	講 師	
11/17 (土)	10:00～ 10:30	講義1 研修の意義とアイスブレイク（事前課題使用）	JCHO 東京新宿メディカルセンター 山崎まどか
	10:30～ 12:00	講義2 アドバンス・ケア・プランニングの地域への展開について	国立長寿医療研究センター 在宅医療・地域連携診療部 医師 西川 満則
	13:00～ 14:30	講義3 アドバンス・ケア・プランニング～意思決定の支援	東京大学大学院 人文社会系研究科 死生学・応用倫理センター 上廣死生学・応用倫理講座 特任教授 会田 薫子
	14:45～ 16:15	講義4 人生の最終段階における「つなぐ」連携	みその生活支援クリニック 院長 小野沢 滋
	16:30～ 18:00	講義5 チーム医療におけるソーシャルワーカーの役割	WITH 医療福祉実践研究所 がん・緩和ケア部 田村 里子
11/18 (日)	9:00～ 10:30	講義6 意思決定に関する法的知識	きのした法律事務所 弁護士 木下正一郎
	10:45～ 12:15	講義7 人生の最終段階における臨床倫理と相談のあり方	岩手保健医療大学 学長 清水 哲郎
	13:00～ 16:10	講義8-1 & 2 人生の最終段階におけるソーシャルワーク支援	WITH 医療福祉実践研究所 がん・緩和ケア部 田村 里子
	16:10～ 16:30	アンケート記載	調査研究事業部

2018年度 老健ソーシャルワーク研修会 プログラム

担当：調査研究事業部

日 時	内 容	講 師	
9/29 (土)	9:50～ 10:00	開会	調査研究事業部
	10:00～ 11:00	講義1 在宅ケアの拠点として介護老人保健施設の支援相談員に求めること	全国老人保健施設協会 常務理事 小川 勝
	11:15～ 12:30	講義2 介護老人保健施設における診療報酬・介護報酬制度改定の影響と対応	高知県医療ソーシャルワーカー協会 会長 中本 雅彦
	13:30～ 14:00	介護老人保健施設における ソーシャルワーク実践報告	介護老人保健施設シーダ・ウォーク 関田 歩
	14:00～ 16:30	ワールドカフェ 1. 同時改定の影響と対応 2. 空床情報の課題と対応 3. 具体的な地域連携活動	日本医療社会福祉協会 業務執行理事 岡村 紀宏
	16:30～ 16:40	閉会	調査研究事業部

2018年度 在宅医療ソーシャルワーク研修会 プログラム

担当：調査研究事業部

日 時	内 容	講 師	
6/30 (土)	10:00～ 10:05	開会	調査研究部
	10:05～ 11:35	講義1 多職種チームで連携する在宅医療 ～「自分らしく生きる」を支える～	医療法人ゆうの森たんぼぼクリニック ／日本在宅医学会理事 永井 康徳
	11:35～ 12:05	講義2 平成30年度診療報酬改定に関する当協会の取り組み	JCHO 東京新宿メディカルセンター 山崎 まどか
	13:10～ 14:40	講義3 在宅医療で出会う倫理的課題 ～ソーシャルワーカーと一緒に悩もう～	特定医療法人仁真会白鷺病院 藤田 譲
	14:50～ 16:30	ワールドカフェ ～在宅医療ソーシャルワーカーの業務とは～	オレンジホームケアクリニック 西出 真悟
	16:30～ 16:40	閉会	調査研究事業部

2018年度フレッシュ医療ソーシャルワーカー1日研修会プログラム

開催日：愛知会場 4月29日 大阪会場 5月20日 東京会場 7月14日

担当：組織運営部

時 間	内 容	講 師
10:00～ 10:40	開会あいさつ 来賓あいさつ	協会理事 都道府県協会代表者
10:40～ 12:10	知っておきたい社会資源	会員医療ソーシャルワーカー
13:10～ 14:40	フロアー交流	参加者相互
15:00～ 16:30	多職種連携入門	会員医療ソーシャルワーカー
16:30～ 17:00	振り返り・アンケート記入 閉会あいさつ・閉会	組織運営部